



●ガバナー 成田 秀治 ●会長 西尾 和樹 ●幹事 慶徳 拓也 ●コミュニケーション委員長 吉田 立盛

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2020/

第 2211 回 例会 記録

《次年度会長担当例会》

2022 年 5 月 26 日 (木)

点鐘 12：30

レポート No. 1643

四つの反省

- 1) 真実だったか どうか
- 2) みんなに公平だったか
- 3) 好意と友情を深めたか
- 4) みんなのためになったか どうか



出貝 職業奉仕副委員長

《会長要件》西尾会長



みなさん、こんにちは。5 月最後の例会です。今日は、次年度会長担当例会です。のちほど、会場後方の大画面を使いまして、清川会長エレクトよりお話をさせていただきます。

今年度も残り 1 か月あまりです。1 年を振り返るにはまだ早いのですが、前回の例会は、よろず相談報告例会でした。伊藤職業奉仕委員長はじめ、みなさんのご協力のおかげで今年度のよろず相談も無事終えることができました。よろず相談当日は、10 組の相談者の方に来ていただきました。

一昨日 (5 月 24 日) の新聞に記事が掲載されておりました。クラブを代表する奉仕活動の大きな柱であるよろず相談、あらためて、その活動の重要性を感じましたし、今後も継続していきたいと思えました。

《幹事報告》慶徳幹事

・例会変更のお知らせ、八戸 RC 6 月 15 日 (水) 任意休会、6 月 29 日 (水) 時間変更、八戸東 RC 6 月 24 日 (金) 時間場所変更、どちらのクラブもメーキャップは通常通り受け付けています。

・先週の例会時にもお話しましたが、次年度のロータリー手帳が届いています。必要な方は後ろのテーブルに置いてありますのでお持ち帰りください。



《ニコニコボックス》米内副委員長

西尾会長：清川会長エレクト、本日よりお願いします。

慶徳幹事：清川会長エレクト、本日はよろしくお願いします。

久保田会員：早退失礼します。

小原会員：清川次年度会長、よろしくお願いします。



《出席報告》中村委員長



正会員数 31 名。本日の出席は免除会員 5 名を含む 20 名。出席率は 74.1% です。

熊谷会員：赤穂さん写真有難うございます。

米内会員：清川会長エレクトどうぞよろしく。写真ありがとうございました。

清川会員：今日は次年度担当例会です。よろしくお願ひします。写真ありがとうございました。

中村会員：清川会長エレクト、本日はよろしくお願ひします。

《国際奉仕委員会》米山担当小原副委員長



米山担当の小原です。本日西村会員から米山奨学金の寄付を頂きました。ありがとうございました。私からも若干やらせていただきます。残りひと月位ですのでよろしくお願ひいたします。

《ロータリー財団委員会》慶徳幹事

財団委員長に替わりまして発表させていただきます。本日小原会員より財団並びにポリオへご寄付を頂いております。ありがとうございます。ポリオの目標までもう少しです。あと 1 ヶ月ございますので皆さんご協力よろしくお願ひいたします。



《次年度会長》清川エレクト



改めまして皆さんこんにちは、今日はよろしくお願ひします。先程スマホで見えていたのですが少彦名神社、お医者さんや薬局関係とかを祀って、健康でありますよと言う神社です。このホームページに、今日という日はどういう日かというのが出ていまし

て、今日は一粒万倍日（一粒が育ち万倍にも実る日、何事を初めても良い日、縁起の良い日）、大安（一日中何をやってもうまくいく日）、大名日（天が明るく万事を照らしてくれる日）、母倉日（何事も縁起の良い日）ということが書いてありました。きっと今日は担当例会上手く出来るだろうと思って頑張りますのでよろしくお願い致します。



PETS の修了書を頂きました。これで会長としてここに立つことが出来ることとなります。

RI 会長テーマが1月20日に発表されました。ウィンザー・ローズランド・ロータリークラブ（カナダ・オンタリオ州）の会員であるジェニファー・ジョーンズ国際ロータリー会長エレクトが発表いたしました。「IMAGIN ROTARY」です。

「大きな夢をかなえたロータリーを想像して」という大きな見出しで出ています。これはマイロータリーからも見られます。その中からご紹介します。「想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています。昨日の事をイマジン（想像）する人はいません。それは未来を描くことです。ポリオのない世界を想像してください。みんなが安全な水を使える世界を想像してください。疾病のない世界、すべての子どもが読むことのできる世界を想像してください。やさしさ、希望、愛、平和を想像してください。だからこそ、『イマジン・ロータリー』がテーマとなります。」ということで、講演の中の一文をご紹介します。後ろのスクリーンをご覧ください。5分ちょっとのビデオですが見ていただきたいと思います。（動画）今見ていただいた通り DEI というのが新年度は大きなテーマ



になるのではないかと感じております。DEI についてこれから色々と考えていかなければと思っただけで、その中でも、先程幹事報告で出ていましたロータリー手帳、新しいのを今お持ちの方は一番後ろの所に、ロータリー関連資料というのがあります。画面上には 2021-22 と 2022-23 を映しています。見づらいたと思いますが変わったところがありまして、私なりに気になっているところをお話しいたします。3 ページ目、4 ページ目に「ロータリーの優先活動」とか「基本理念」が載っています。「基本理念」には、100 年以上にわたり、私たちはロータリーの価値観と伝統をあらわす基本理念にしたがって行動してきました。「四つのテスト」、「ロータリーの目的」、「五大奉仕部門」は、私たちの中核的価値観をあらわしています。と書かれています。皆さんご存知のように「五大奉仕部門」は、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕。「中核的価値観」とは、親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップとなっています。今回の PETS は RLI 形式の PETS で、事前に資料も何もないまま PETS を受けることになり皆さんも戸惑っていましたが、ロータリー手帳の「ロータ

リーの行動計画」の中の「ロータリーのビジョン声明」に書かれていることが議題だったように思います。4 ページ目に「より大きなインパクトをもたらす」とありますが、こういうインパクトをどのように与えたら良いのか「参加者の基盤を広げる」にはどの様にすれば良いか、「参加者の積極的なかわりを促す」「適応力を高める」と続いて一番最後に「DEI」ということで、Diversity（多様性）、Equity（公平さ）、Inclusion（インクルージョン）の頭文字をとって DEI へのコミットメントを採択していますということが書いてありますが、これは PETS でも色々な意見が出ましたが、答えはありませんのでみんなの意見を共有し合いたいということでした。このような事から私は今年度一番大事なのは DEI という事ではないかと思っただけで、これを大事にしていきたいと思っただけです。

PETS が終わってから届いた資料ですが「ガバナーエレクトワークブック」というもので、会長エレクト用ではなくガバナーエレクト用のワークブックで、それを基に行ったということでした。

5 月 14 日、今月、地区研修・協議会が行われましたが、コロナの関係で参加するのが難しく ZOOM 参加の方が多かったと思います。その中で「クラブの運営について」ということで沼田 PG が講師として説明していただいたことを報告したいと思います。「クラブ運営の柔軟性導入実例」例会の形式、ホテルやレストラン等で食事や卓話を中心とする従来型から食事を省いた例会にするとか、例会場を会員の事務所、自宅等にして順番に回って開くとか、オンラインと対面式のハイブリットを例会に取り入れるというのもあるのではないかと話をされていました。その中で出たのですが、二人しかいないクラブがあるそうです。毎年会長、幹事が入れ替わるというクラブがあって、それだけロータリーが好きな人たちもいるんだよというお話をされました。次に「例会の頻度と出席」について、クラブは少なくとも月に 2 回は例会を開くべきである、出席要件を緩めたり出席要件そのものをなくしても良い、出席は義務ではなく機会ととらえる、メイクアップは年度内に行えばよい、ずいぶんと変わりました。結構前に月 2 回例会を開けばよいというのはありましたけれど、出席の要件そのものをなくしても良いのではないかとするのはどうなのかなと感じております。「会員の種類」今は正会員と名誉会員の 2 種類しかいませんが多様な会員種類を設けることが出来るということで、「法人会員」「家族会員」、法人会員であれば代表者の氏名を登録して、予め代理人をクラブに届けておけば、代理出席を OK とみなす。家族であれば配偶者や子供という形でも出来るというような話だと思っただけで、ただここに出てきているのは、国際ロータリーへの人頭分担金は規定通り納入しなければならないと書いてあるので、人頭分担金に関しては頭数に入れるという話になってしまうのかなと、そこはどうかという事は感じます。「クラブのモデル」従来型のクラブで創立時最低 20 人、E クラブは創立時最低 8 人とかパスポートクラブとか法人クラブ、活動分野に基づくクラブ、学友中心クラブなど、色々出ていますが、結論から言うと 2022 年 4 月

開催の規定審議会の採択を踏まえて、国際ロータリー定款細則、標準ロータリー定款が一部変更されるはずである、その場合はマイロータリーへの発表、ラーニングセンターのクラブ運営を参考にして、自分のクラブの定款細則を変更しなければならないということです。ここにロータリーの規定審議の流れというのが出ていましたが、これは簡単にしか説明しなかったもので、良くわからなかったので黒田先生や長嶺 PG に聞くとすぐわかる話だと思つたのであとで教えて頂きたいなと思います。

4月10日から14日にシカゴで開かれた規定審議会は初めてハイブリット形式で開かれ60%の方が対面式参加、残りの40%の方がZOOM参加でした。中でも注目された案件の一つに「バランスの取れた会員基盤を築くための多様性の推進」があります。この制定案は承認されたということになります。先ほどのDEIと同じ考え方ではないのかなと思つるのは、「各クラブとローターアクトクラブは、多様性、公平性、インクルージョンを推進するような、均等の取れた会員構成を構築するよう努めるものとする」「ロータリーはジェンダー、人種、肌の色、信条、国籍、性的指向によりクラブへの入会を拒否することを禁じます」ということになっております。

次に「クラブの試験プロジェクト」ということで「クラブとロータリアンのための新たな地域別ガバナンス構造をRI理事会が試験的に実施することを可能とする裁定が行われました。活発な議論が行われ324対150で可決されました。」ということで、試験的プロジェクトとして書いてあるのが「グレートブリテンおよびアイルランドのロータリー、及びオーストラリア、ニュージーランド、南太平洋諸島クラブと地域に限られ、その期間は6年間とします。」この6年間の間に試験的にいき、その結果を見てどうするかというのを採択する形になると思つます。

「人頭分担金の増額」という話も出ております。「今後3年間の各年度の人頭分担金の増額を承認しました。クラブがRIに支払う人頭分担金は2022-23年度には半年ごとに35ドル50セントであり、その後23-24年度には半年ごとに37ドル50セント、24-25年度は半年ごとに39ドル25セント、25-26年度には半年ごとに41ドルに増額します。」ということで、人頭分担金がこれからも上がっていく、今でも毎年1ドルずつ上がっていたのですが、増額して2ドルずつ上がっていくという話になっています。

最後になりますが私たちに一番影響のあるのが「ロータリーの雑誌の購読について」要はデジタル化を推奨したいという案が出たそうなのですが、賛成はたった8%に過ぎなかった、大多数は印刷版の購読を希望していますということで、この案は却下され今まで通り私たちに「ロータリーの友」が出版されていきます。「ロータリーの友」の購読料も上がります。広告収入が7,000万円くらいあったのですがコロナの影響で400万円位しかなく維持するのが大変なので、今現在220円だったのを285円にしますということを言われました。

この様に色々変わってきているわけですが、国際ロータリーの変更はわかり次第皆さんにご報告させていただきたいと思つます。

皆さんのレターボックスの中にRI会長と地区ガバ

ナーである田中ガバナーエレクトの資料を入れています。RI会長については先程説明しましたので地区の事をお話させていただきます。地区のスローガンは「ロータリアンの想いを繋ぐ」です。地区目標は9つ掲げられております。資料の次のページに細かいことが記載されておりますので、各委員の方はそちらをご覧になっていただければと思います。その中にはありませんが交換留学生を出したいということでこういうポスターを作成して募集を掛けたいというお話でした。派遣先はアメリカ合衆国、カナダ、ヨーロッパ、台湾などで2830地区内からは3人程度を予定しています。留学期間は2023年8月から2024年7月迄の1年間です。募集時の年齢は2830地区内の中学3年生と高校の1、2年生に在籍し以下の条件を満たす学生ということですので要件を満たす方にお知らせしてほしいということです。これに付きましても「コロナの関係でどうなるかわかりません」という一文がついています。地区目標にあった台湾への「アクトの翼」もそうですけれども、どうしてもコロナが付きまってしまうので、大変申し訳ありませんが状況に応じて進めていきたいと思つますということでした。

クラブの委員会編成表ですが理事会の承認を得たので報告となります。委員会の中の委員の欄に線引きをしていますが、これは私のお願いでこのようにしました。要は委員長、副委員長だけでやるのではなく、委員の方にも色々参加していただきたいという思いがあってこのような形にさせていただきました。例えばどういうことかということ、出席報告は委員長や副委員長だけでなく、その他の報告も委員の方にもローテーションで行っていただきたい。出席・親睦活動の出貝委員長、コミュニケーションの中村委員長、青少年奉仕の橋本委員長などのクラブ在籍が短い委員長には逆に委員の方たちがフォローアップしていただきたいと思つております。そういうこともあり委員会の会合を開くようお願いいたしました。コロナの関係もあり必ずとは言えませんが出来るだけ開いていただきたいと思つます。よろず相談の補助金も申請しておりますので次年度も行いたいと思つます。

皆さんのお手元に年間プログラムがあると思つます。とりあえずはコロナの影響がないという形、影響があると分かっているところはそれを踏まえて作っております。7月28日に合同例会ということで載せてありますが、6月3日に新旧会長幹事会議がありその場で決まりますので正式に決まりましたら改めてお知らせしますが日程が変わるかもしれませんということです。8月25日のガバナー公式訪問は確定です。ですから18日と25日は確実になります。三社大祭は中止、納涼例会は8月4日にパークホテルさんで行いたいと思つています。見ていただいて分かるかと思つますがコロナが落ち着く前提で作ったプログラムになっておりますので、状況に応じて理事会の了承を得て進めたいと思つますので、どうかよろしくお願ひします。

一年間失敗することもあるかと思つますが、皆さんのお力をお借りして何とか頑張っていきたいと思つますので、よろしくお願ひいたします。